学校番号	４０９

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「新日本史Ａ　新訂版」　（実教出版）						
副教材等	自作プリント　など						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史の魅力を感じる
・過去の歴史と現在とのつながりを理解する
・歴史の流れの中で現在の日本を評価する

2　学習の到達目標

・教科書その他の歴史的記述に触れる中で、必要な文章の読解力を養う
・さまざまな資料に触れ資料を読み解く力を身につける
・日本の近現代史と現在の日本の社会の関連性について理解し、よりよい社会を作ろうとする積極的な主権者としての姿勢を養う

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c: 資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日本の近現代史に対する関心を深める。過去の日本の帝国主義的政策、侵略者としての振る舞いに対する他国の批判に真摯に向き合う姿勢を育てる。	歴史に対する評価を主体的かつ公正に下し、これからの日本のあり方を考える。	日本の近現代史に関する資料を収集し、内容を読み取りまとめる。	日本の近現代史の中で生じたさまざまな出来事を、諸外国の歴史と関連させながら理解を深める。
評価方法	提出プリント、グループワーク	定期考査、提出プリント、グループワーク	定期考査、提出プリント	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	日本の近代化と帝国主義化	・開国、明治維新と日本の近代化 ・日本の帝国主義化、	○	○	○	○	a:日本が近代化、帝国主義化していった時代の歴史に興味を持とうとする。 b:日本の近代化と帝国主義化がもたらした功罪について考える。 c:必要な資料を収集しまとめる d:日本と他国の歴史を関連付けながら理解を深める。	定期考査 グループワーク 提出プリント
2学期	デモクラシーの展開と日中戦争、第2次世界大戦	・大正デモクラシーの展開 ・日中戦争から第2次世界大戦終結までの動き	○	○	○	○	a:東アジア地域における日本の侵略の歴史に理解を深め侵略された側の声に耳を傾ける姿勢を身につける。 b:南京大虐殺や従軍慰安婦問題など諸説ある事項について性格に理解し主体的に評価する。 c:主題に沿った資料を収集しレポートなどの形にまとめる。 d:大正デモクラシーなど戦争に反対し民主主義を強めようとする動きと戦争に向かっていく権力とを関連付けながら当時の社会に対する理解を深める。	定期考査 グループワーク 提出プリント
3学期	「戦後」から「現代」へ	・「戦後」から「冷戦」の日本と世界の動き ・「冷戦」終結から現代までの日本と世界の動き	○	○	○	○	a:日本の戦後復興、高度経済成長の歴史に興味を持ち理解しようと努める。 b:冷戦構造、冷戦終結など国際政治と関連つけて日本の歴史について理解し考える。 c:必要な資料を収集し自分なりの評価も加えてまとめる。 d:戦後から現在に至る日本の歴史に対する理解を深める、知識を身につける。	定期考査 グループワーク 提出プリント

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。